

知っ得情報

みなさん、こんにちは! 今回はスマートキーのお話です。

スマートキーの電池は定期的に 交換しましょう!

最近の車はキーをカバンやポケットから出すことなくドアの開錠や施錠、エンジンの始動が可能なスマートキーが増えてきて、乗用車ではほとんどの車種で標準装備されています。とても便利で今や欠かせないものとなってきていますね。

しかし、スマートキーに内蔵されている電池がなくなると便利な機能が使えなくなり、鍵が開かない、エンジンの始動ができないといったトラブルが発生します。

スマートキーの電池はだいたい1~2年くらいもつと言われていますが、次のような使用状況、保管場所によってはスマート



キーが常に通信状態となる可能性があり、数カ月で電池がなくなってしまうこともありますので注意が必要です。

- スマートキーをよく車の中に放置している
- テレビやパソコン、携帯電話などの電子機器の近くにスマートキーを保管している

そのため、自動車課ではトラブルを未然に防ぐため1年ごとの交換をおすすめしています!電池が

少なくなってくるとスマートキーにあるLEDランプがつかなくなるので交換の目安にしてください。また、電池切れな

どでスマートキーが作動しないときの対処法が取扱説明書にのっていますので、読んで万が一に備えましょう。

最近スマートキーの反応が鈍くなってきた、LEDのランプが点灯しなくなってきたというかたはすぐに電池を交換しましょう!



電池切れなどでスマートキーが作動しないとき (HONDA車の例)

■ドアを開けるには



①スマートキーから内蔵キーを抜く。

■エンジンをかけるには



①[POWER]スイッチを押す。「ピーピー」と鳴っている間にスマートキーをスイッチに接触させる。



②運転席側のロックを解除する。



②「ピッ」と鳴りインジケーターが点灯している間にブレーキペダルを踏みながら[POWER]スイッチを押す。